



さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期校友会会報第4号

年頭の挨拶

会長 澄川 ○ ○

明けましておめでとうございます。校友会会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は校友会事業推進に当たり暖かいご支援・ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、昨年の世相を表す「今年の漢字」に「安」が選ばれましたが、「安心・安定・安泰・安全」の「安」でしょうか。それとも「不安・不安定」の「安」でしょうか。パリで「イスラム国」の犯行による同時テロ、ネパールの大地震で9千人が亡くなったり、「不安」の多い年でした。今年も、日本での伊勢志摩サミットやリオでの夏季オリンピックの開催と世界的に大きなイベントがあり警備等の「不安」が先走りします。何はともあれ今年も、「安心」して過ごせる毎日であってほしいと願うものです。

ところで当校友会も4年目を迎え、今年も岩協文化祭の主幹としての責任の重い立場にあります。演芸においては、従来の本丸公民館が手狭のため、「市民会館いわつき」に移行し、雰囲気さがらりと変わり、従来、先輩達が築いてきた企画・運営が微妙に変化してきています。従って、引き継ぎ通りやればよいという訳にはいきません。皆さん全員の力を結集して創意・工夫をし、実行に移していかなければなりません。おかげ様で来年度はほとんどの方が、残留し気心の知れた仲間と、協力しあって活動していくこととなります。

今年も皆さんのご協力により、楽しく愉快に我が9期の存在を示していきたいと思っております。引き続き笑顔のあるかつ力強い9期生を目指し、ともに歩んで行きましょう。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申しあげ、新年の挨拶といたします。

12月14日(月)全体集会

ワッツコミセン 4F

12月の定例集会がワッツコミセンで開催された。盛り沢山の連絡事項があり浪江総務部長の「日本一周ひとり旅」と閉会后開催の懇親会が重なり、充実した集会となった。



趣旨説明の関谷副会長

連絡事項 1月14日 全体集会(本丸公民館)視聴覚ホール
「九州一周の旅」

2月8日 全体集会(ふれあいプラザいわつき)

協議会・連合会より

2月19日～23日 連合会の文化祭 さいたま市文化センター

展示作品(5点参加) **演技部門参加** 「ネパールのマーダル・ダンス」 17名出演

3月2日 連絡協議会主催 **研修旅行** 9期40名参加

7時45分マルエツ前集合 益子・大前恵比寿神社・いちご狩り

3月26日 **さいたまマーチウオーク** 9期22名参加

アンケート 来季校友会活動参加確認・活動内容要望確認

平成28年度行事計画(案)

4/12	総会	5/17	バスツアー	6/14	全体集会	7/中旬	議事堂見学
8/9	全体集会	9/6	全体集会	10/25	バスツアー	11/9-13	文化祭
12/14	全体集会	1/	全体集会	2/15	全体集会	3/	研修旅行

始皇帝と大兵馬俑展

新春明けの6日、第8期からのお誘いで上野国立博物館の「始皇帝と大兵馬俑展」に史跡巡りクラブの行事として参加。薄曇りではあったが風もなく、鶯谷から上野寛永寺に参拝の後、博物館へ向かう。紀元前数世紀からの秦王朝時代の出土品の数々を目にし、始皇帝の人となりふれるとともに、中国から今回の展示品として持ち込まれた本物の11体の「永遠を守る」軍団、兵馬俑に接する事が出来た。始皇帝は生前から自分の墓所を指示。

その近くから今も発掘が続けられ、次々と新しい軍団が出続けている。

今から約2200年前に「最初の皇帝」を名乗り、中国大陸に統一王朝を打ち立てた秦の始皇帝。その陵墓のほど近くに埋められた兵馬俑は、20世紀の考古学における最大の発見のひとつと謳われ、出土以来、新しい知見と驚きをもたらしている。我々は、バリエーション豊かな兵馬俑と始皇帝にまつわる貴重な文物をこの目で見る事ができ、始皇帝が空前の規模で築き上げた「永遠の世界」を楽しむ事ができた。見学が終わって8期と別れて上野の昼食会場で暖かな食事を堪能。賑やかに話がはずむ。次の史跡めぐりクラブの企画は2月に上野界隈の七福神巡りを計画している。



8期の皆さんとの集合写真



兵馬俑のレプリカ (撮影用)

酒匂川の河原で宇宙を感じる

9期6班 佐々木 ○○

わざわざ河原の石ころを見るために朝5時に起きるなんてことは、生まれてこの方、一度もなかった。そもそも、「酒匂川」ってなんて読むのかも、もちろんその川

がどこにあるかも知らなかった。それが、石の大好きな人が、私のような素人の人たちに、河原の石ころを見ながら地質のことを教えてくれるというのです。それほど地質に興味がある訳でもないのに、行こうときめたのは、その人の熱意に負けたようなものでした。

河原に着いたのは10時、真っ白に雪化粧した富士山が近くに見えて感激しました。ゴロゴロした河原に丸く陣取り、先生の説明を聞いたあと、それぞれ好きな石

を拾って、それに名前を付けて貰うのです。ルーペやハンマーや、鉱物を判定するための塩酸や磁石を使って、角閃石片岩だとかトータル岩だとか、今まで聞いたことのない名前を覚えて貰いました。岩石を作る成分にはケイ素や酸素や鉄やマグネシウムがあって、隕石の成分と地球の成分は同じだったことも教えて貰いました。人間の身体の中にある鉄やマグネシウムも、もともとは宇宙から来たんだと思うと、急に石ころが愛しくなって、名前を忘れてしまったけど、たくさんの小石を、ザックに詰めて帰ってきました。ホント、重かったあー！



校友会員の紹介で108歳と102歳の撮影が

昨年肖像撮影家の林 明氏のお話を伺うことが出来て、受講された方々から「お話を伺って本当に良かった」との声が大勢寄せられましたが、早速中島さんと江原さんからご紹介が有り、林さんと連絡を取ったところ、1月中旬中島さんからのご紹介の108歳の池端 静江さんの撮影が大宮の東山という料亭で済んだとの電話が有りました。中島さんからも「池端さんのご家族の皆さんが本当に喜んで下さって、大変素晴らしい記念の日になった」とのお話を頂きました。江原さんからも102歳の多芳子さんを御紹介いただき、2月2日無事撮影が出来ました。

こうして校友会の皆さんからのご紹介が続き、林さんからは「今のところ220人以上の撮影が終わった」と仰っておられました。御存じの通り、費用は全く掛かりませんので出来るだ



多 ○○さん



池端○○さん

第5回自主講座「日本一周ひとり旅」

4班 浪江 ○○

12月14日全体集会の日に、4年前にトライされた浪江会員の「日本一周ひとり旅」のお話を伺った。浪江会員は退職を契機に日本一周を実行しようと前々から計画され、万全の準備の元、バンの改良から何から何まで一人でされたとのこと。本来であれば奥様と御一緒に旅をなさる予定であったが、諸般の事情で表題の一人旅となったそうです。綿密なる事前の準備・計画の元はやる心を抑えてのスタートとなったそうです。



我々には足りないものに、浪江会員ならではのPCという武器があり、この計画を実行するに当たっての大切な助っ人となったことは言うまでもないと思います。

行く先々での人との出会い、聞きしに勝る目に飛び込んだ風景、様々な出来事、トラブル、感動など、浪江さんの軽妙な話術に思わず引き込まれて聞き入ってしまいました。浪江さんが最も寂しかったのが「人恋しさ」だったそうです。私は「奥さま恋しさ」だったのではないかと思います。何十日間も何時もそばにいる人が居ないとそんな心境になってしまうのでしょうか。本州、九州、山陰、東北から北海道と65日間かけて踏破し、最後は、石巻からお家まで何処にもよらずに一目散に奥様の胸に飛び込んだそうです。未だ四国が残っていますので是非チャレンジして頂きたいと思います。（文責 瀧田）

懇親会開催 大いに盛り上がる

27年最終集会の後、料亭「鮎又」で忘年会を兼ねて懇親会が開催された。2班と3班が担当で松井3班班長を中心にたびたび会合を重ね、総勢47名の参加の元懇親の夕べを楽しんだ。澄川会長から「この1年間皆様のお陰で充実した年になった。文化祭でのマダラ・ダンスが秀逸で浦和の文化会館に出演が決まり、我が9期としてこの上ない誇りに思う。是非頑張ってもらいたい。今夜は十分楽しんでほしい」との挨拶が有り、関谷副会長の乾杯の音頭で宴になった。



早速各班の声に自信の人たちのカラオケがスタート。中には一寸どうかと思われる人も居ないではなかったが、皆芸達者で大いに楽しんだ。個性豊かなメンバーをもう一度見直したひと時でもあった。2・3班の皆さんが用意したビンゴが行われ、盛り沢山の豪華景品に時間の過ぎるのも忘れ、全員に景品が行き渡るまで延々と時間がかり、司会の町田さんも声がかれたそう。

最後に司会者から「私は何時も幸せだなと想う。何故幸せかと言うと先ず、健康でここに来られるということ。2番目には家族の協力が有ると言うこと。3番目には少しのゆとりがあること。この3つが無ければこうして楽しめないからである」と締め言葉が有った。そしてアメリカの自動車王ヘンリー・フォードの「何も学ぼうとしない人は誰でも老いる。20歳であっても80歳であっても学び続ける人は誰でも若い」という言葉で三々五々解散となった。参加者からは今回の懇親会が「最高に楽しかった」との言葉が多く聞かれた。



澄川会長と9期の良き仲間たち



大いに盛り上がって総出で踊りの輪が

史跡巡りクラブ 谷中七福神巡り 2月17日28名

今季史跡めぐりクラブの開催行事は4回目、4月のひたち海浜公園（9期行事のバス旅行）、6月の足利の街散策、11月の渡良瀬溪谷紅葉狩り（バス旅行）、今回の谷中七福神めぐり、今季の活動全てが晴天に恵まれて 会員の日頃の清らかな行いに感謝・感謝です。

谷中の七福神めぐりは江戸で最も古く人気コースです、上野と本郷に挟まれた谷中は江戸時代の都市計画で多くの寺院が集められて門前町として栄えてきた「寺と坂のある街」として親しまれています。心残りは毎年の七福神御開帳が1/1～10の期間である為、ご本尊を拝顔できなかつたことですが、点在する多くの寺院と趣のある古い街並みをゆっくりと散策でき快い1日でした。

トピックス : Xさんが6番目の護国院（大黒天）までは居たのに7番目の弁天堂（弁財天）では姿が見えない・・・・・・携帯電話も持っていない（対応出来ず）⇒昼食会場に30分程遅れて到着（他の集団について行き迷子、昼食会場を知っていたので無事合流 ホットした瞬間でした！！



校友会連台会芸能発表会

さいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会主催の「第23回芸能発表会」が2月21日に行われた。文化祭の一環として校友会の皆さんの絵画・書・写真・手芸等の作品展も同時開催され、展示場一杯の作品が展示された。我が9期からは澄川さんと蕪木さんの写真、三品さんのペーパークラフト、渡辺トミ子さんのスタンドグラスと蓮見さん・田村さん合同作品の人形などが出品された。芸能の部では大変多くの学校の皆様の様々な分野の芸が上演された。

歌ありダンスあり手品ありでどれを見ても芸達者な皆さんで拍手が止まらなかったが、我が9期の皆さんのネパールの「マーダール・ダンス」にはひと際盛大な拍手喝さいが送られた。と言うのは昨年の岩槻のシニア文化祭で好評を得て今回、岩協の代表として選ばれました。出演が決まって以来、幾度となく唐沢さんを中心に三品さんの振り付けで猛特訓を繰り返し、会場費の予算が大幅に超過してしまうほどであった。参加して下さった17名の精鋭の努力に心から敬意を表したいと思った。当日の出し物の中で誰もが秀逸と感じたことには吝かでないと感じた次第。もし順位を決める投票があればダントツで一位であったと信じている。（文責・瀧田）

